

平成29年度 経過報告

第36回定期総会を昨年7月に開催してから1年が経過し、本日ここに第37回定期総会を迎えることになりました。本総会は、これからの1年間の運動方針を討議・決定し目的達成に向かって全組合員が団結し、行動するための意志統一をするため開催するものであります。

建設業界では一部仕事の回復が見られますが賃金の上昇はみられません。このような状況の中で、組合のメリットを活用した年2回の拡大運動の取り組み、宣伝カーの活用など、分会・支部の組合員、役員、職員が厳しい拡大状況のなか奮闘し、春の拡大月間中は本部割当39名に対して、32名の加入者がありました。しかし、1年を通して脱退者、除籍者が172名と加入者の107名を上回り、昨年5月末の組織数を65名下回る1,755名で29年度を終えました。

地元国会議員に対し、大衆増税反対・インボイス制度実施に慎重な対応を求める要請行動をしました。

「アスベスト被害の根絶と全面救済を求めて公正判決を求める署名」「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」「さらなる消費税増税を行わないよう求める要請署名」、建設国保の予算要求ハガキ運動などに取り組んできました。

アスベスト問題については、組合員本人及び家族の立場にたって本部とともに取り組んできました。

この1年間の運動、行動を支えていただいた組合員、ご家族の皆さん、そして先頭にたってご奮闘された役員の方々に心から敬意を表し運動の経過と総括を報告いたします。

組 織 部

1. 組織部会を年5回開催しました。
1. 支部分会・組織活動者会議を3月18日に開催し、分会組織の充実、強化に向けた取り組みをしました。
1. 拡大推進委員会を10月3日と2月16日の年2回開催し、拡大運動に向けた行動を具体的に討議しました。
1. 組合員宅の訪問を春の拡大月間中に実施し、組合員とのコミュニケーションを図りました。
1. 支部組織強化のため、5月31日に専門部長会議を支部五役も含めて11名の参加で行いました。

会議の中で、近年のマンションや事業所を含む家庭訪問の難しさが議論されましたが、ハガキ要請行動の訪問も含め継続審議となりました。

1. 本年も組織の拡大に向けて、ホームズ尼崎店、現場訪問などで宣伝物の配布及びその他諸行動に取り組みました。

今年度、3名以上拡大し組織拡大に貢献された方々は次の7名です。

又、支部及び分会役員として長年その責務につとめ支部発展のためにご尽力いただいた次の1名の方に感謝状を贈呈して感謝の意を表します。

平成29年度拡大功労者

(29. 6～30. 5 加入分)

氏 名	分 会
白 井 太 一	小田北
岡 信 秀	小田北
中 林 栄 二	小田北
重 吉 健 司	大 庄
吉 岡 秀 之	大 庄
柳 川 伸 也	伊丹南
上 甲 好 貢	宝 塚

役員表彰者

氏 名	分 会
上 田 俊 平	立花北

教 宣 部

1. 支部機関紙の発行回数は、新年号を含めて8回でした。そのたびごとに企画編集会議を開きました。
1. 機関紙の内容は、支部・分会・専門部等の行事や活動記事、保険証交換学習会・税金申告相談会・レクリエーション・イベント等の連絡事項や、組合員及び御家族からの寄稿も掲載しました。又、労災防止・交通事故防止・健康問題なども取り上げました。
1. 新しい組合員を増やすため、拡大行

動があります。支部・分会幹事の意欲、行動にも限界があり、拡大の重要性を組合員一人ひとりに機関紙で訴え、協力を要請しました。

1. 10月22日に行われた本部主催の教宣学習会に、実力をつけるため部員2名が参加し、読みたいと思わせる見出しのつけ方、写真・記事の大きさや配置を学び、機関誌作成、技術の向上に努めました。
1. 12月10日に支部教宣学習会を開催し、7名が参加しました。
1. 一般組合員及び御家族の寄稿には、謝礼をしました。

税 対 部

1. 1月22日、税金決算記帳講習会を開催し、22名の出席がありました。
1. 2月20日の部会で支部担当者の税金申告対策会議を行いました。
1. 2月22・30日・3月8日に尼崎市中小企業センター、3月1日JEC伊丹日本研修センター、3月9日女性センタートレピエにおいて税金申告相談を5回行い、合わせて124名の参加がありました。

賃 対 部

1. 1月23日に本部で行われた支部本部合同賃対部会に支部より1名が参加しました。
1. 2月1日に行われた県連賃金討論集

会に支部より1名が参加しました。

1. 3・25統一行動日には20名が参加し、大庄分会の大庄地区を中心に4月8日に賃金パンフ・組織拡大パンフ・ポケットティッシュ等2,200部を配布し、組織拡大にも協力しました。
1. 賃対部会を4回開催しました。
1. 家計簿調査及び賃金アンケートに取り組む生活の向上を目指しました。
1. 公契約条例に賃金条項をいれる運動を本部及び各諸団体と共に取組んできました。

住 技 対 部

1. 部会を1回開催しました。
1. 支部本部合同住技対部会に参加し、他の支部との交流を深めました。
1. 技能講習会の参加者は2名でした。
1. 尼崎市の潮江なつフェスに小田北分会と合同で参加して、住宅相談を行いました。イス作り体験を行い、職人技をアピールしました。
1. 奉仕活動の依頼はありませんでした。
1. 社会見学会は23名の参加で、伊根の舟屋と天橋立に行きました。

社 保 対 部

1. 建設国保の保険料が少しでも負担が少なくなるように組合でも全建総連中央決起大会参加及び請願書・ハガキ要請行動など通じて努力してきました。

1. 新加入者集会を毎月2日（1月分は12月27日）に実施し、新加入者に対する組合活動や建設国保に対する認識及び、保険料等の納付についての説明を行い滞納のないように努めました。又未加入者の紹介のよびかけもあわせて、新加入者アンケートに協力していただきました。

1. 保険証の有効期限が11月30日までのため、11月度に20会場で、分会役員が主体となり保険証交換学習会を実施しました。そのなかで補助金現行水準獲得のための財務省への要請ハガキ行動に取り組みました。

又、要請ハガキ行動は厚生労働省にむけても取り組みました。

1. 保険証交換学習会を分会役員が主体で行いますので建設国保、その他の資料説明に対する支部役員の学習会を実施してきました。
1. 保険料・介護保険料滞納対策については、毎月幹事会で分会単位で対応しましたが、滞納がない状況にすることは出来ませんでした。
1. 3月25日、講師をまねいて健康教室を開催し、18名が参加しました。
1. 建設業退職金共済制度加入者数は、平成30年5月現在で219件です。新加入者集会にて、加入をすすめてきました。建退共の掛金は平成15年10月より1日310円となり、一人親方は1ヶ月23日、事業所は25日として統一しています。事務費として1ヶ月30円を徴収しています。

1. 労働保険事務組合総会を6月3日に開催しました。

青 対 部

1. 青年部の活動を支援するため、毎月開催される青年部幹事会に出席し指導してきました。
1. 青年部の機関紙の作成に協力してきました。
1. 2月4日開催のもちつき大会に28名参加、4月15日に行われた青年部のレクリエーションのハーベストの丘でのバーベキューに、26名参加し交流を深めました。
1. コスモスの会の幹事会に出席し、活動に助言や協力をしました。
1. 11月19日に行われたコスモスの会のカルチャースクールに参加し交流を深めました。
1. 4月29日に行われたコスモスの会のレクリエーションのイチゴ狩りと、芝桜見学に28名参加し、交流を深めました。